

# 『主体的・対話的で深い学び』を実現するための実践研究事業」教材研究会レポート No.4

## 四万十市立中村中学校 教材研究会 平成30年5月22日(火)

### ◇模擬授業

数学科 第1学年「数と式」

音楽科 第3学年「曲想を生かして表情豊かに歌おう」

授業者 岡田 紘典 教諭

授業者 山下 旭 教諭

### ◇教科会

数学科、音楽科、社会科

授業改善には不断の教材研究が必要であると言われていま  
す。本教材研究会では、教材との関わり方を問い直し、授業づ  
くりの基本を見つめていきます。

子供の学びの求めに応えるためには、教師が自らの指導を問  
い直し、自己更新していくことが大切です。教科の価値やよさ  
を実感できる授業をともに描いていきませんか。

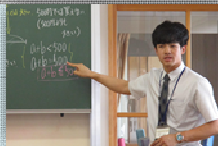


### 研究主題

「主体的な学び課題解決できる生徒の育成」 ～各教科の見方・考え方を働かせる学習指導を通して～

### 本時の目標

文章の表現を式に表し、その式が本当に  
正しいかどうか批判的に考え、線分図  
や言葉で表現し説明することができる。



### 本時の目標

心情や周囲の情景と、調や速度、強弱の  
変化を関わらせた表現を工夫して歌うこ  
とができる。



### 授業の視点

式と図（線分図）を関連させて批判的に考えていたか。

### 授業の視点

長調と短調の構成音の違いを理解して演奏を工夫する  
ことができたか。

### 最終板書

### ここがポイント!

小学校で以上以下は言葉として学習しているが、記号として初めて学  
ぶ。不等号は、大小関係を表すものという小学校の理解を不等号は範囲  
を表すことができるという理解にいかにつなげるかが大切となります。

### 最終板書

### ここがポイント!

曲想と音楽の構造や背景などの理解をより高めることが求められます。  
歌調の変化、速度、強弱、伝統、文化、風土を意識した歌への感想等、  
日本語のコミュニケーションを高めることで音楽のコミュニケーション  
を高める等、音楽的活動を通じた授業づくりが大切になります。

# “生徒は一人で全教科を学んでいる” ～教科指導の原則を問い直す～



校内の研究の進め方として、共通で取り組むテーマ設定は大切です。

## “教科は一つ”

見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現により、汎用性のある能力を獲得していくために教科間のつながりが重要となります。そのためには、教科ならではの特色を打ち出し学びを進めていく必要があります。



## “見方・考え方”とは何かを問う

見方とはキー概念、考え方とは思考・表現方法といえます。学習対象への出会いで問いをもち、学習対象を生徒の学びで追究していき発展させていくことで新たな問題を発見する。このような一連の活動で学びが成長していくように、見方・考え方を道具として各教科で鍛え、主体的・対話的で深い学びを実現していくのです。そして大切なことは、教科ならではの価値を実感させることです。

各教科における見方・考え方を鍛えることで、授業の中で多様なメタネをかけ学習対象を観ることができきます。

## “見方・考え方”で授業を描く

どこに目を付け、どのように考え表現させていくのか。見方・考え方も使うことで成長が期待されます。



ゴールとしての三つの柱の資質・能力の育成に私たちは何から取り組んでいく必要があるのでしょうか？

例えば社会科の教科部会では、単元観の見直しを協議するなかで単元の指導を内容ベースのゴールからの脱却を図り、生徒がどんなことができるようになって欲しいかというゴールから考えました。

## ゴールから学びを創る

社会的事象を生徒の問いに変え解決の必要性を実感させ、多面的多角的な考察等の汎用性のある能力を育成していくための授業づくりに向けて「地理」ならではの見方・考え方の再考がなされるなど、各教科会においてアプローチの方法がブラッシュアップされました。

## 模擬授業から見えてきたこと

- 小学校の学びをいかに中学校の学びに成長させ、以上以下を記号で表す必然性やよさを実感させる授業づくりをしていきたい。【数学科】
- 音楽から学ぶこと、表現することから感受していくこと〈音楽のコミュニケーション〉をあらためて考え直す機会となりました。【音楽科】
- 単元をどう構成していくか、まとめを能力ベースで考え、そこから入り口を考えていく等の授業づくりをもう一度見直せました。【社会科】

## 参加者の声

- 「小学校からの学び」から授業を創るのではなく、中学校の内容と小学校の内容をどう結びつけていくのかを考えていきたい。
- 生徒が何ができるようになるのかという点をもう少し具体的にイメージし、生徒の今後の学びにつながるようにしたいと思いました。
- 今回の単元計画を見直し、既習とのつながりのある授業を目指したいと思います。
- 今回の教材研究会の中で、2年生の内容の話もあったので、教材を様々な視点で分析し、生徒の学びがつながるよう、授業で取り入れてみたいと思います。
- 理論的な説明をしていただくことで授業を見直す視点が明確になりました。単元構成をゴール（付けたい力）から見直していきたい。

check!

子供の期待に応える学びをともに作りませんか

受付 12:30

次回 平成30年6月19日(火) 授業研究会 13:25から 1年数学 2年社会 3年音楽